



Ferris University

2008 No.6

フェリス女学院大学同窓会会報



《聖句》

「兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と
思いなさい。」
ローマの信徒への手紙 12-10

ある同窓会

学院理事長 小塩 節



在・未来についてなど、互いに実によく刺激し合い、学び合う。都合がつかず集まなかつた者は、半分はほめられ、半分は旧悪を暴露されよう。互いに学徒か一流企業のトップだから、ひとりものんびり老後を送っているものがなく、全員が現役で働いている。

旧制中学の同窓会もそうですが、この旧制高校の、かつてはパンカラ高校生と言われていた者たちの、良かれ悪しかれ身につけていた教養主義は誇つてもいいものでした。徒らなエリート意識はいけませんが、教養とは含義であります。

つい先日も同窓会、とくに同級会を意をこめて開いたのですが、ひとつだけ、フェリス女学院の同窓会にはかなわないことがあります。そして、それは美に深く大きい意味としか言いようのないものです。それはフェリスの掲げる建学の精神がいつしかモットーとなつて結晶したとくに私たち文科乙類組は週に十時間近いドイツ語専攻のクラスで、今でも年に二度ぐらいは同級会を松本や関東のどこかで開きます。これが実にたのしい。年とともに語り合いのなかも濃く深くなつていく感がしています。もちろん卒業して六〇年。すでに旧制高校という全国で国公私立全部合わせて三校は、すべてなくなつてしまっていますし、メンバーはみんな後期高齢者なのですが、もちろん集まると、昔話もあり、互いの健康についても尋ね合いますが、多くは世界経済や文化、学問、音楽の過去・現

在があります。緑園キャンパスが開かれたのは一九八八年ですから、それ以前に卒業した同窓生たちは山手、それ以後の同窓生たちは緑園キャンパスが思い出されるでしょう。山手しか知らない同窓生もおられるでしょうが、もう二十年たつますので、緑園しか知らない同窓生がますます増えることになります。

フェリスの学生が山手の坂を上るのに便利なようにという発想からハマトラ・ファッショングが生まれたという話を元町で聞きました。残念なことに、横浜にいるタイガースファンのことではありませんでした。フェリス今年七月の学院広報に私も記しましたので、ここでは省きます。でも心から申したいのは、同窓会の皆様が、過去を懐しみつづ(いいことなのです)、お互いの将来を支え合つて考え方祈り、他者のために、他者とともに、そして場合によ



野原だけだったと聞く緑園キャンパスも、周りにマンションが立ち並び、大学の生涯学習講座に参加する人たちも多くなりました。昼休みの礼拝にもそうした人たちが多く出席しています。新しいキャンパスの風景です。大学だけを考えると、フェリスは緑園に定着した、と言えるでしょう。同窓生が、卒業後に生涯学習講座に通うために、再びキャンパスを訪れるということも多くなるかもしれません。

再来年には学院は創立百周年を迎える。中高から短大、四年制大学へと、一本の木が成長するように、学院は発展してきました。先人たちの信仰と熱い祈り、そして大きな夢と幻という、深い根から豊かな養分を与えられた、大きな木の一本の枝のよう、山手キャンパスと緑園キャンパスは、それがの営みを続けています。港に近い海の山手、緑濃い丘陵にある山の緑園、言わば二つの中長を持つ楕円のようです。こうした地域の特長を生かして、そして時間軸についても、在学生活だけでなく同窓生をも含めた長い伝統を生きかして、服装にとどまらない、新しいハマトラ・ファッショングとも言うべき、時代にふさわしい文化を発信できないだろうかと、夢見ています。

ぜひ同窓生の皆さんにもさまざまなアイデアを持ち寄っていただき、ご一緒に創立百四十年をお祝いできたらと願っています。

「ハマトラ・ファッショング」

学院長 岡野 昌雄

学長就任のご挨拶

学長 宮坂 覚



同窓会の皆様には、日ごろからお世話になります、衷心より感謝申し上げます。

四年間に亘り学長を勤められた本間慎学長の任期満了での退任に伴い、四月一日付けで学長に就任しました。皆様の祈りと支援をたよりしながら、先人たちが辛苦し発展させてきた本学・学院のために、微力を尽くす所存です。

私がフェリス女学院大学に着任しましたのは、1980年の春のことでした。

最初の公務は入学式で、その日のことを記憶しています。山手の大学に向かう道すがら、石川町からの通称猫坂に通ずる不規則な階段を上がりながら見上げた、花びらを揺すぶっていた満開の桜を鮮明に覚えています。学生時代でしたが、「横浜のフェリスが大学を設置」が随分世の話題になり、私自身も大いに心が騒ぎました。それから、十数年後に自分の職場になるとは夢にも思っていませんでした。そんな想いがなおさら山手の桜を鮮やか

フェリスでの思い出と近況報告 元学長 本間 慎



として生きていくべき道、教育の精髄を示していくものであると感銘しました。国立大学では見られない建学の精神であると思いました。担当科目は環境、生態、人類遺伝等でした。びっくりしたのは、環境の授業に300名を越える学生が受講してくれたことです。これに気をよくして学生と一緒にピオトープ研究会をつくり、環境問題を取り組むことにしました。環境問題には当時の佐竹学長の強い支持、協力を得ることができ、キャンパスの空き地にピオトープを学生・地域住民とともに造成したり、図書館・7号館・体育館建設の際にはエコ建築ができ、社会的にもエコキャンパスのフェリスと認知されるようになったのは有り難いことです。

同窓会のみなさんには在職13年間、とくに、学長の4年間には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

さて、私と元学長の弓削達先生とは日本学術会議の会員で一緒にいました。フェリスとの縁は、一度、私が東京農工大学定年の年にフェリスで理系教員の後任を募集しているので来ないかと先生にいわれ、応募し、共通教育の教員として勤務したときから始まります。

大学の雰囲気は大変ピオトープで「For Others」の建学精神が私には新鮮で奥深く、そして人間

として生きていくべき道、教育の精髄を示していくものであると感銘しました。国立大学では見られない建学の精神であると思いました。担当科目は環境、生態、人類遺伝等でした。びっくりしたのは、環境の授業に300名を越える学生が受講してくれたことです。これに気をよくして学生と一緒にピオトープ研究会をつくり、環境問題を取り組むことにしました。環境問題には当時の佐竹学長の強い支持、協力を得ることができ、キャンパスの空き地にピオトープを学生・地域住民とともに造成したり、図書館・7号館・体育館建設の際にはエコ建築ができ、社会的にもエコキャンパスのフェリスと認知されるようになったのは有り難いことです。今年の3月退職し、現在、故郷の佐渡ヶ島に新設された、伝統文化と環境福祉の専門学校の校長として佐渡全城をキャンパスとして学生の教育と同時に過疎化しつつある故郷の活性化のお手伝いをしています。みなさん、草木もなびく佐渡ヶ島へ足をのばしてみませんか。

維持協力会へのご協力を願いします!!

同窓会の皆様の変わらぬご支援にはいつも心から感謝しております。フェリス女学院の将来を支えていくために、維持協力会への更なるご理解・協力を願いいたします。

会員の方には中高及び大学の図書館利用、フェリスホールでのコンサートが半額になる等、他にもいくつか特典ございます。
会費だけでなく、ご寄付も受けております。入会及び寄付申込、払込用紙・資料の請求他については下記問合せ先までご連絡ください。

《問合せ先》

本部事務局 維持協力会担当
Tel : 045-662-4511, 4503
Fax : 045-651-4630
E-mail : hsoumu@ferris.ac.jp

りてら・りべるて・Fグループ 合同総会

2008年4月29日・緑園キャンパスにて



第6回合同総会は、好天に恵まれた緑園キャンパスで開催されました。

今年は、祝日にも拘らず授業が平常通りに行なわれていましたので、緑園都市駅から学生の皆さんと一緒にキャンパスへ向かい、まるで学生時代に戻ったような気持ちでした。

はじめに、各同窓会がそれぞれの総会を開き、一同チャペルに移動し、大学宗教主任廣石望先生の司式により礼拝はとり行なわれました。

次に同窓会を代表し、りてら田辺会長よりご挨拶と、Fグループ大谷会長、りべるて金子会長の紹介がありました。

大学より、四月に学長となられました宮坂覺先生のご挨拶をいただきました。少子化の中、先生方をはじめ、職員の方々も一体となつて大学を盛り立てている様子が伝わり、とても心強く感じました。

統いて音楽学部新卒業生による演奏を楽しみました。

そして、懐かしい校歌を歌い、チャペルを後にしました。

懇親会は、場所を食堂に移して行ないました。小塩節理事長の楽しいお話、岡野昌雄学院長からは、学院全体のお話を伺い

ました。また、各学部の先生方をご紹介しながらひと言お話しいただきました。

授業を持たれている先生はその後、教室に向かわれましたので、ゆっくりお話を伺えず残念でした。

しかし、今回は学生の皆さんのが普段の生活に接することも出来ましたので、有意義な一日となりました。

来年は授業の関係で開催日時が未定となつております。

改めてご案内を致しますので皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいます様お願ひ致します。



第24回 りてら総会

日時 4月29日

於 8号館大會議室

来賓 学長 宮坂 覚先生

国際交流学部長

江上幸子先生

今回のりてら総会は、文学部出身の新学長宮坂覚先生と、女性初の学部長、江上幸子先生をお迎えして始まりました。

若い方達の御出席も多くあり、8号館大會議室は華やいだ雰囲気に包まれました。例年より一時間早く始まった総会は、4月5日の幹事会で承認された事業報告、決算報告、ショッピング会計報告予算案などがそれぞれ報告されました。

その後、新学長のご挨拶ではフェリスに対する深い思いをお話頂き、感動と共に大きな拍手が沸き上りました。その後、江上幸子先生にも新任のご挨拶を頂きました。

その後、今年初めての企画としてお弁当を



(報告 大矢
節子・71J)

第19回 りべるて総会

4月29日(火) 1号館大會議室において、りべるて総会が開催されました。

総会に先立ち、金子会長より3月29日に行われた「りべるて20周年記念会」の報告と、りべるての活動をお支え頂いている教職員、会員、旧会員の皆様へ感謝の言葉が述べられました。

総会には、ご来賓の友井先生、学院から岡野学院長のご臨席を頂きました。友井先生より、どうぞ皆様総会を大切にし、楽しんで参加して下さいとのお言葉を頂きました。岡野先生からは、フェリスは再来年140周年を迎えるますが、同窓生の皆様で大きなネットワークを広げ、維持協力会に楽しく参加して下さいとのお話をありました。

議事に入り、2007年度活動報告、決算報告、会計監査報告が承認されました。引き続き、2008年活動計画(案)、予算(案)について審議、承認されました。本年度出席者は委任状を含め1318名でした。



(報告 岩江真理
子・D51)

Fグループ総会

4月29日緑園チャペルにおいて、久保浩先生はじめ7名の先生をお迎えし、57名の同窓生が集いFグループ総会が開催されました。

今年からいくつかの祝日が授業日となり、当日は現在の大学生活を間近で見られるよい機会となりました。まず大谷会長より、同窓会本部は同窓生がこれからも音楽に関わっていくようなお手伝いをしていきたとの挨拶があり、議事に入りました。

07年度会計報告・会計監査報告・08年度予算(案)・活動報告・活動予定が各役員により報告され、それぞれ承認されました。さらには各支部から活動報告がなされました。

続いて学部長の久保先生から同窓会の大學生への協力に感謝のお言葉を頂き、音楽学部の近況をお話ししいただき閉会となりました。本年も皆様の同窓会活動へのご参加を心よりお待ちしております。



(報告 地佳代・55)

音楽学部新卒業生演奏

*ソプラノ独唱
オペラ『夕鶴』より

ピアノ 高松久美子
藤本実沙

●團伊玖磨作曲
"与ひよう、あたしの大事な与ひよう"



一〇〇七年度 卒業式



同窓会では、今年の卒業生をお迎えすることができました。

- 文学部 289名
- 音楽学部 97名
- 国際交流学部 215名
- 大学院 28名

りてら

「恒常性への幻想」

文学部長 渡辺 浪二



つい先日、勤続15年の表彰を受けました。「え、本学に来てから15年も経つたのか?」というのが正直な感想でした。勤めてからほんの数年、という感覚から未だ脱出、いえ、成長していないような気がします。人は長らく同じ場所に勤務していると、心理学でいうところの恒常性の罠にはまり、何も変わらないという認識に陥るようです。

しかし、この間文学部は山手から緑園へのキャンパス移転、コミュニケーション学科設置、さらには人文科学研究所にコミュニケーション専攻設置と大きな変化、そして発展を遂げてきました。それと同時に、教員の去就もぼぼ毎年のことであり、この数年に限っても何人の先生が定年退職でお辞めになり、お一人は若くして病に倒れました。この四月からは、宮坂教授も学長に就任して文学部日本文学科を離れました。大学は教職員だけではなく、等

しくあるいはそれ以上に学生、保護者、同窓生の方々のご尽力によって創り上げられるものです。しかし、自分自身が大学を卒業する當時はそのような思いに至らず、学生はいつときの通過者でしかなく、卒業してしまえばそれで縁も切れてしまうような感じがしておきました。それほど大学は確固とした存在であり、教授陣は変わることなくそこにおられ、嘗々と伝統を築き上げられるものと思えた訳です。

しかし、このような考えはまったくの誤解でしかなく、教授陣も一介の大学の通過者にすぎないと紹介され、「同性の私たちが応援しています」との激励に、大いに勇気づけられました。これまでことは、長く在職された雲の上のような先生方が大学を去られ、万端お任せできなくなってしまったからかもしれません。おそらく、諸先輩の先生方に代わり、自分たちに課せられた責任の重大さに初めて気づかされたからでしょう。ふと思えば、かく言う私自身の在職できる時間もそう長いとはいえない時期になりました。通過者とともに気づかされたからでしょう。それでも何人の先生が定年退職でお辞めになり、お一人は若くして病に倒れました。この四月からは、宮坂教授も学長に就任して文学部日本文学科を離れました。大学は教職員だけではなく、等この頃です。

「韓国生まれの韓国籍ですが、小学校から高校まで日本の教育を受け、中国の大学に留学していました。今年新入生を迎えるたび、それまでと違った傾向に気づかれるのですが、今年は学生の「グローバル化」に驚かされました。もともとフェリス、ことに国際交流学部には海外経験をもつ学生が多いのですが、今年はいつもそうの進展を感じました。

日本人卒業生も少なくありません（私の専門の関係で中国情報が多くなっています）。日本人卒業生たちが、国境を越え、ジエンダーによる枠を破つて、幅広い世界で活躍してくれることが私たちの喜びです。新入生が将来の道をきりひらく上で、先輩女性である同窓生の経験やネットワークは大変貴重なものですね。後輩たちがさまざまな希望を実現させるためにも、ぜひ皆様のお力を貸しください。

新入生と「グローバル化」

国際交流部長 江上 幸子



した」とか、「父母も自分も中国籍ですが、日本で生まれ育ちました」とかいう学生が少なくなったのです。

大磯でおこなう新入生学外オリエンテーションでも、「中国で人気がある日本のミュージシャンは誰?」「フランスでは日本の〇〇という漫画が人気!」などの会話に花が咲いていました。将来の進路について尋ねたところ、「国際機関で働きたい」という希望をはじめ、「一生働き続けたい」という声が大勢を占めています。

てらの総会に参加させていただきました。幅広い年代の同窓生が集われ、役員の方々が手際よく差配される姿に、心地よい女性パワーを体感し、元気を頂戴することができます。

「女性の学部長は初めてです」と紹介され、「同性の私たちが応援しています」との激励に、大いに勇気づけられました。これまでと異なり何とも頼りない学部長ですが、どうぞご支援お願い申し上げます。

毎年新入生を迎えるたび、それまでと違った傾向に気づかれるのですが、今年は学生の「グローバル化」に驚かされました。もともとフェリス、ことに国際交流学部には海外経験をもつ学生が多いのですが、今年はいつもそうの進展を感じました。

フェリスの卒業生たちが、国境を越え、ジエンダーによる枠を破つて、幅広い世界で活躍してくれることが私たちの喜びです。新入生が将来の道をきりひらく上で、先輩女性である同窓生の経験やネットワークは大変貴重なものですね。後輩たちがさまざまな希望を実現させるためにも、ぜひ皆様のお力を貸しください。

りてら同窓会室から



会長 田辺 真弓 (72E)

「りてら」の皆様、いつも同窓会をお支えくださいますことを心から感謝申し上げます。

去る四月二十九日の総会は、大学の通常授業と並行して行われるという初めての状況のもと、無事終了することができました。諸先生方もご多忙の中、授業の合間に駆けつけてくださいました。

さて同窓会活動についてですが、まず卒業生からの心をこめた「りてらランチ募金」は、学院の維持協力会へ全額お持ちいたしております。このようにこれからも感謝の気持ちを表現できますように、この会報とともに振込用紙を同封させていただきます。また、同窓生にエールを送ることも同窓会の大切な役割です。For Others の理念の元、活躍する卒業生をご推薦いただければ幸いです。

現在の「りてら」は、各学部・学年から二名ずつの代表が幹事会を構成しています。

るために、アイディアある新しい風を吹き込んでいただきたいと思つております。そして、学生の方々も一緒に活動していきたいとお誘いしているところです。今年の十一月一日・三日、緑園キャンパスにて開催される大学祭にぜひいらしてください。昨年は、奨学会と共に催で地震学者の方による「地震と上手く向き合う秘訣」と題した講演会を開催することができました。本年もビッグなフラー作家・假屋崎省吾氏のトークショーを計画しましたので、どうぞ期待ください（十一月二日午後一時より講演）。

また、下記の決算報告のように「り

てらショッピング」では、フェリス女学院を懐かしんでいただきたいとフェリスグッズの販売に力を注いでいます。これは母校と同窓会をつなぐ大切な収益となるものです。

「りてら」は、学生と同窓生が協力して新しい何かを生み出すことのできる場所です。ご友人もお誘い合わせて、緑園キャンパスの同窓会室にぜひお出かけください。心よりお待ち申し上げます。

りてらショッピング

新製品の御案内

りてらショッピングでは、日々、約30種のグッズを販売しております。これまでに、これらは母校と同窓会をつなぐ大切な収益となるものです。

「りてら」は、学生と同窓生が協力して新しい何かを生み出すことのできる場所です。ご友人もお誘い合わせて、緑園キャンパスの同窓会室にぜひお出かけください。心よりお待ち申し上げます。

りてらショッピングでは、日々、約30種のグッズを販売しております。これまでに、これらは母校と同窓会をつなぐ大切な収益となるものです。

「りてら」は、学生と同窓生が協力して新しい何かを生み出すことのできる場所です。ご友人もお誘い合わせて、緑園キャンパスの同窓会室にぜひお出かけください。心よりお待ち申し上げます。

2007年度 フェリッシュップ会計報告 (2007年4月1日~2008年3月31日)

収入	
ジャパンビバレッジ	774,856
フェリッシュップ(緑園)	1,325,144
通販	247,495
白菊・その他の利息	622,750
利	4,520
小計	2,974,765
繰越在庫	2,339,875
前年度繰越金	3,316,032
合計	8,630,672

支出	
小林紙工	1,944,061
ワールドアイ	534,466
錦プロデューサーズ	1,414,980
人件費	33,500
振込料・その他	41,640
合計	3,968,647
来年度繰越金	4,662,025

りてら資産	
定期預金	70,000,000
普通預金	37,507,485
合計	107,507,485

監査の結果、適正なものと認めます。

監査 坂井久子
吉川津子

りてら 2007年度決算報告 (2007年4月1日~2008年3月31日)

収入

項目		決算
終身会員費	14,580,000	
預金利息	186,072	
雜収	5,000	
小計	14,771,072	
前年度繰越金	33,847,899	
合計	48,618,971	

支出

項目		決算
事務用品	67,923	
印会通報	338,431	
総会費用	3,519,554	
会員登録	1,569,905	
会員連絡	296,639	
会員登録	1,327,650	
会員登録	507,200	
会員登録	110,895	
会員登録	7,614	
会員登録	54,804	
会員登録	176,718	
会員登録	874,125	
会員登録	224,787	
会員登録	0	
会員登録	8,641	
会員登録	26,600	
会員登録	2,000,000	
会員登録	11,111,486	
会員登録	37,507,485	
会員登録	48,618,971	

決算報告

りてらアーカイブ

三回目となります「りてらアーカイブ」です。

今回は三十数年間、フェリスで教鞭をとられ、シェイクスピアをごよく愛し続けていらっしゃる由井武夫先生をお迎えいたしました。

フェリスのアトモスファイア

がミッションスクールというものか！」

フェリスの初講義では、実は物凄く緊張していました。それまでの僕の経歴は旧制横浜中学、明大を出て、そのまま母校大学の教師でしたから、全く対照的なカラーの所にいたわけです。

つまり、中学は男子校。大学も当時、英文の一クラスに女性は二人と、まさに男っぽい世界。そこで、山手はとても近寄りがたいレイディたちの丘に映っていた。その僕がまさか、フェリスの教壇に立つことになろうとは・・・。ところが最初の教室の壇上に上がると全員無言で一斉に起立。「これ

も、こんなことはなかつたのですから、ますます恐れ入る。こうして週に一日、大いに畏まつて優雅なレイディの丘に登り、他の日は圧倒的多数の男子に少しきらり、他の日は圧倒的多数の男子に少しも、このまま経験した二、三の大学どこで

も、このまま恐れ入る。こうして週に一日、大いに畏まつて優雅なレイディの丘に登り、他の日は圧倒的多数の男子に少しも、このまま経験した二、三の大学どこで

も、このまま恐れ入る。こうして週に一日、大いに畏まつて優雅なレイディの丘に登り、他の日は圧倒的多数の男子に少しも、このまま経験した二、三の大学どこで

方々の三年時でしたから、以来、実に三十数年、山手から緑園へとシェイクスピアをテーマに、言わば、つたない漫談？を語り続けたのでした。僕には最高の勉強になり、お蔭で昨年『私たちのシェイクスピア』（新水社）という、彼の悲劇の全てを扱った読み物を纏めることもできました。原点を辿れば、ひとえに、フェリスの教室に帰着します。しかし、そういう学問上の恩恵ばかりではなく、更に感謝すべきものがあります。

永年幾つかの学園で講義をさせていただいて感じるのですが、それぞれの所に独特の空気がある。例えば、明治は豪快な一見男性的な外面」と言つても、今では、やはり文学部の多数派は女性」の奥に、暖かい庶民性も、世に



【由井 武夫 先生 略歴】

- 1930年生。明治大学文学部卒業後、1955年、同大学院文学研究科終了。
- 同大学の教壇に立ち、専任講師、助教授を経て1969年教授。
- この間、母校の横浜高校のほか、明治高校、東京理科大学にも順次兼任出講歴。
- フェリス女学院大学には1967年より兼任講師。
- 2001年、明治大学、フェリス女学院大学ともに定年退職。

【著書】

- 『若者たちのシェイクスピア』
『私の中の龍馬とシェイクスピア』（ともに象山社）
『私たちのシェイクスピア』（新水社）

れる、楽しくて充実した日になりました。ただ、他学部の授業も、それはそれで、視野を拡げられる大変有益な経験には違ひなかつた。とにかく、授業始めに起立したのは、フェリスですから人様に話すことは、まず、自身に大変なプラスです。いま振り返って、とても満足のいく講義とは言いがたい内容に、お付き合いをいただいた皆さんには、かなりの御迷惑をかけたに違いないのですが。

あの最初のクラスは、英文第二期の方々の三年時でしたから、以来、実際に三十数年、山手から緑園へとシェイクスピアをテーマに、言わば、つたない漫談？を語り続けたのでした。僕には最高の勉強になり、お蔭で昨年『私たちのシェイクスピア』（新水社）という、彼の悲劇の全てを扱った読み物を纏めることもできました。原点を辿れば、ひとえに、フェリスの教室に帰着します。しかし、そういう学問上の恩恵ばかりではなく、更に感謝すべきものがあります。

永年幾つかの学園で講義をさせていただいて感じるのですが、それぞれの所に独特の空気がある。例えば、明治は豪快な一見男性的な外面」と言つても、今では、やはり文学部の多数派は女性」の奥に、暖かい庶民性も、世に

おもねらない真実な学究の伝統もあり、かつての男性社会では女性が法律学を学べる唯一の私学でした。そしてフェリスも女子大の花形としてマスコミに持て囃される外面とは別に、もつと静穏な気品と真剣な勉学の世界が確固と

【会報編集】

●酒井篤子（62E）

●板谷宏江（86E）

●貴田里砂（87E）

●進藤智美（88E）

◆特集◆ りべるて20周年記念会

3月29日（土）に山手6号館606教室に於て、記念会は開催されました。

満開の桜と晴天に恵まれ約200名の会員の皆様が出席されました。

ご来賓として、中島省吾名誉顧問、岡

野昌雄学院長、本間慎大学長、友井ゆり子名誉教授、千葉秀悦事務局長、服部ひろ子白菊会会長をお迎えしました。また、ご招待いただきました先生方より、大河内

君子先生、樋場眞市先生、佐藤和雄先生、柴沼晶子先生、辰巳嘉則先生、豊原元彦

先生、馬場淑子先生、矢野知子先生がご出席くださいました。

はじめに、岡崎晃先生の司式により礼拝はとり行されました。

その折のお説教を岡崎先生にまとめていただきました。

『生き甲斐は死に甲斐か』

私は一九七八年から一年間「キリスト教概論」を担当していました。家政科の店仕舞後は、大学で〇二年春まで「キリスト教学」の授業をしましたが、何れの場合も私の授業は厳しいことで有名でした。でも、キリスト教の押し売りにならないように自戒し、むしろ、人間とは何か、自分とは何者か、一人の人間として社会とどう向き合



うか、といった人生の問題に時間を割き、信仰者としての私の立場から問い合わせるよう心掛けたのです。

そんな中で、「生き甲斐」ということもよく話題にしました。昔は、「自分は何のために生きるのか」というのは、もっぱら青年の問だったように思います。ところが近頃は、それが熟年後からの老年の問になっているように見えるのです

がどうでしょうか。

古代インドでは、人生を四分して、五

〇→七五歳を「林住期」とよび、「仕事」は生きることも無げに「生きて行く」と言います。でも考えてみてください。一年間、一日、生きて行くということは、それだけ自分の持ち時間が減つて、死に近づいたことではありませんか。毎日生きて行くのは、毎日死んで行くことでもあるわけです。だから「何のために生きるのか」を求める時には、同時に「何のためなら死んでもよいか」と考えるべきではないでしょうか。生き甲斐は、同時に死に甲斐でもあるときに、本当に自分の人生を支える価値あるものになる筈です。

生きる目的と死ぬ目的が一つになつて死んでもよいか」と考えるべきではないでしょうか。生き甲斐は、同時に死に甲斐でもあるときに、本当に自分の人生を支える価値あるものになる筈です。生きる目的と死ぬ目的が一つになつていた人が「聖書」の中に居ます。パウロという人です。彼はイエス・キリストを知ったことにより、それまで自分を支え

を離れて真の生き甲斐をさがす時」とされていたそうです（藤原智美・暴走老人）。とすると、それ以前は一応仕事がそれなりするものに生き甲斐を置いてきたこと自体が問題だったのではないでしょうか。そんな人が改めて老後の生き甲斐さがしといつても、何か打ち込める趣味でも見つかれば良いですが、それだって何時まで続けられるか保証の限りではありません。



岡崎 晃

続いて金子会長より20周年を迎えるにあたり、これまでご尽力を頂きました歴代会長への謝辞が述べられました。そして今後共、皆様のご理解とご協力を得て活動を続けて行く旨ご挨拶がありました。

中島先生より、家政科が幕を閉じるに至る経緯等改めてお話を伺いました。そしてこれから活動に暖かい励ましのお

言葉を頂きました。

岡野学院長より、これまでの活動と今後の活動への期待とご理解のご挨拶を頂きました。

友井先生より、当時の先生方のお話や、今までの活動を振り返りお話を頂きました。

また、これまでの活動を支えて頂きました。また、これまでの活動を支えて頂きました。

した学院へ、感謝の印として30万円の寄付を金子会長より岡野学院長へ手渡されました。

記念式の最後は、奥山正夫先生のご指導を受け活動しております、"コーラリベるて"によるコーラスを楽しみました。

懇親会は、会場を学院本部3階大会議室に移して行ないました。

本間大学長の乾杯のご発声により立食パーティとなりました。ご出席頂きました先生方は前方に用意致しましたテーブルに着席頂きそのままわりを同窓生が囲み、懐かしいお話を喜きました。

ご出席の皆様は、同期はもちろん、寮の先生方と一緒に山手にいらした方や先生にお会いできると思っていらっしゃ等、この記念会が旧交を暖めるきっかけとなつたようです。

卒業してからはじめて山手にいらした方や先生にお会いできると思っていらっしゃ等、この記念会が旧交を暖めるきっかけとなつたようです。

再会を期して閉会となりました。

最後にご協力頂きました学院の皆様に感謝を申し上げます。



20周年記念会、お世話でした。

階段教室への入室は30年ぶりでしたが着席すると学生に戻ったような気さえなれました。

楽しい一日を過ごすことができました。あ

「20周年記念会」に出席して

りべるて 20周年記念会に出席させていただきました。

人々に賛美歌・校歌・先生方のお話に接し学生時代に戻った様な気分にさせていただきました。

また、記念品のスプーンとフォークと校章入りで懐しく本当にありがとうございます。良い会でございました。

S・Y (D 29)
記念会に出席させて頂き、旧友と一緒に楽しい一時を過ごす事が出来ました。

又、久し振りに訪れた山手界隈の変わったが歩いて来た数々のお話しも聞くことが出来あらためて先生方役員の方々の

先生方にもお目にかかり、今日までび

るてが歩いて来た数々のお話しも聞くこ

とが出来あらためて先生方役員の方々の

記念会では大変お世話になりました、ありがとうございました。とても立派な会で盛況で、とても楽しめ、懐かしいお話を喜きました。

会長さんはじめ、役員の方々お働きに本当に感謝致しております。

M・O (D 41)

20周年記念会、お世話でした。

階段教室への入室は

奥山先生ご指導のコーラリベるては、記念会でのコンサートを最後に、活動を終了しました。

コーラリベるてより、2万円の寄付がありましたので、学院維持協力会へお渡いたしました。

りがとうございました。

Y・O (D 53)

20周年記念会に出席し、旧友と卒業後初めて会うことができ、とても楽しい時間をお過ごさせて頂きました。

企画は大変だったことでしよう。どうもありがとうございました。

S・O (D 55)
記念会に出席させて頂き、旧友と一緒に楽しい一時を過ごす事が出来ました。

又、久し振りに訪れた山手界隈の変わったが歩いて来た数々のお話しも聞くこと

とが出来あらためて先生方役員の方々の

先生方にもお目にかかり、今日までび

るてが歩いて来た数々のお話しも聞くこ

とが出来あらためて先生方役員の方々の

会長さんはじめ、役員の方々お働きに本当に感謝致しております。

M・O (D 41)

お願ひ

使用済の切手をお送り下さい。

同窓会では、定期的に各機関へ届けております。今までにお送り下さいました皆様にはお礼状も差し上げず、申し訳なく思ってお

ります。紙面をお借りしてお礼申し上げます。今後もご協力をお願

いいたします。

*切手は、まわりを5mmほど残して、切り取つて下さい。

コーラリベるて

奥山先生ご指導のコーラリベるては、記念会でのコンサートを最後に、活動を終了しました。

コーラリベるてより、2万円の寄付がありましたので、学院維持協力会へお渡いたしました。

友井ゆり子先生のお料理教室



六月十二日に、「友井先生のお料理教室」が開催されました。ミニユース、かぼちゃの田舎風ステップ、かじきまぐろのプロヴァンス風、クスクスのサラダとロールケーキでした。

最初に友井先生より、それぞれのお料理の詳しい説明をお伺いしてから、先輩方と実習を行いました。友井先生のお話しの中で、今更ながら初めて知ることも多く、大変勉強になりました。

お食事のときには、小松田貞利事務局長もお忙しい中ご出席して下さり、和やかな雰囲気の中、おいしくお料理をいただくことができました。私は、今回初めて参加させていただきましたが、友井先生や同窓の方々とお料理教室の時間を共に過ごせましたことをとても嬉しく思いました。また家政科記念館で実習を行うことで懐かしい学生時代を思い出し、梅雨の中、楽しいひとときを過すことができました。



柴田 千鶴 (D 61)

六月十二日に、「友井先生のお料理教室」が開催されました。ミニユース、かぼちゃの田舎風ステップ、かじきまぐろのプロヴァンス風、クスクスのサラダとロールケーキでした。

最初に友井先生より、それぞれのお料理の詳しい説明をお伺いしてから、先輩方と一緒に実習を行いました。友井先生のお話しの中で、今更ながら初めて知ることも多く、大変勉強になりました。

お食事のときには、小松田貞利事務局長もお忙しい中ご出席して下さり、和やかな雰囲気の中、おいしくお料理をいただくことができました。私は、今回初めて参加させていただきましたが、友井先生や同窓の方々とお料理教室の時間を共に過ごせましたことをとても嬉しく思いました。また家政科記念館で実習を行うことで懐かしい学生時代を思い出し、梅雨の中、楽しいひとときを過すことができました。

三浦由里子 (D 64)

大森いく子先生のお菓子教室

三月に行われたお菓子教室では、目にも鮮やかな春らしい黄色のケーク春のミモザケーキ」と朝食や軽食にもなるペッパーサラミブレッドなど三種のブレットを教えていただきました。

先生の陽気で気さくなお人柄と軽快なリズムのご指導やお話で、笑いの絶えない楽しい時間となりました。

飼料から良い物を使って作られた栄養価の高い、黄色味の強さが印象的な卵を使用したり、香りづけにもレモンチエッロというイタリアの珍しいリキューを加えたりとこだわりの食材もご紹介くださいり、私達の食材の知識も広がりました。

前回はよもぎのシフォンやそばぼうろ、今回はババロアを挟んだスポンジドなど、毎回バラエティに富んだメニューで私達を楽しませてくださいます。皆様もぜひ参加なさって、ご一緒に見つめても華やかな美味しいケーキで、お茶の時間も会話を弾みました。

柴田 千鶴 (D 61)

六月十二日に、「友井先生のお料理教室」が開催されました。ミニユース、かぼちゃの田舎風ステップ、かじきまぐろのプロヴァンス風、クスクスのサラダとロールケーキでした。

最初に友井先生より、それぞれのお料理の詳しい説明をお伺いしてから、先輩方と一緒に実習を行いました。友井先生のお話しの中で、今更ながら初めて知ることも多く、大変勉強になりました。

お食事のときには、小松田貞利事務局長もお忙しい中ご出席して下さり、和やかな雰囲気の中、おいしくお料理をいただくことができました。私は、今回初めて参加させていただきましたが、友井先生や同窓の方々とお料理教室の時間を共に過ごせましたことをとても嬉しく思いました。また家政科記念館で実習を行うことで懐かしい学生時代を思い出し、梅雨の中、楽しいひとときを過すことができました。

フェリスグッズ

- 本革ペンケース
(赤・茶・青)
各 1,500円
- 本革ブックカバー 文庫用
(エンジ・キャメル)
各 2,500円
- エプロン
(黒・赤・茶・紺・ピンク)
各 2,000円
- ハンドタオル
(ピンク・クリーム・水色・
黄緑・白)
各 450円
- スプーン フォークセット
500円

《講習会・グッズ申し込み先》
家政科同窓会りべるて
Tel・Fax (045) 662-0750

■2007年度決算報告書 2007年4月1日~2008年3月31日

科 目	金 額 (円)
受 取 利 息	1 6, 5 9 8
事業費(グッズ販売、バザー)	5 7 1, 1 8 3
名 簿 代 金	1 2, 0 0 0
寄 付 金	3, 0 0 0
小 計	6 0 2, 7 8 1
前 年 度 繰 越 金	1 3, 6 1 2, 4 1 3
合 計	1 4, 2 1 5, 1 9 4
支 付 金	1 1 5, 6 2 7
交 際 費	1 4, 0 0 0
事 業 費(グッズ)	6 7 2, 4 3 9
20周年記念行事	8 9 4, 1 7 2
小 計	1, 6 9 6, 2 3 8
次 年 度 繰 越 金	1 2, 5 1 8, 9 5 6
合 計	1 4, 2 1 5, 1 9 4
定期貯金(日本郵政公社)	2, 6 3 5, 1 0 9
定額貯金(同上)	3, 0 1 2, 0 0 0
通常貯金(同上)	1, 3 0 5, 9 3 4
通常貯金(同上)	1 6 1, 5 7 3
普通預金(横浜銀行)	5, 2 4 0, 3 9 4
現 金	1 6 3, 9 4 6
合 計	1 2, 5 1 8, 9 5 6

■2007年度運営費報告書 2007年4月1日~2008年3月31日

科 目	金 額 (円)
基 金 運 営 費(学院より)	2, 3 5 3, 9 6 8
合 計	2, 3 5 3, 9 6 8
支 出	
消 耗 品 費	4 6, 6 6 9
旅 費 通 費	3 4 6, 1 6 0
通 信・運 搬 費	9 4 3, 3 7 3
印 刷・製 本 費	8 1 3, 4 1 1
報 賞 手 数 料	1, 5 2 5
会 議・会 合 費	6 5, 2 0 8
諸 会 費	7 0, 0 0 0
涉 外 費	4 3, 8 9 0
雜 費	2 3, 7 3 2
修 繕 費	0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2, 3 5 3, 9 6 8
収 入・支 出	0

■2008度予算 2008年4月29日

科 目	金 額 (円)
消 耗 品 費	7 0, 0 0 0
旅 費・通 交 費	3 5 0, 0 0 0
通 信・運 搬 費	1, 2 2 0, 0 0 0
印 刷・製 本 費	9 4 0, 0 0 0
報 賞 手 数 料	5, 0 0 0
会 議・会 合 費	5 0, 0 0 0
諸 会 費	7 0, 0 0 0
涉 外 費	2 0 0, 0 0 0
雜 費	1 0, 0 0 0
修 繕 費	1 0, 0 0 0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2, 9 2 5, 0 0 0

会長 金子 和恵

会計 石井克子

志村嘉子

三浦由里子

監査の結果、相違ないことを確認致しました。

2008年4月10日

監査 渡辺晃子

御 仰美



Fグループだより

No. 37
〒231-0862
横浜市中区山手町68
フェリス女学院大学
音楽学部同窓会
(Fグループ)

Fグループ、三つの目標

Fグループ会長 大谷 園子（11回）



会報をご挨拶をお届けする季節がめぐつてまいりました。

受けして以来、私は、大島久子氏（初代会長・第1期生）の言葉「同窓会は単なる親睦の場でなく、会員に研鑽と向上の機会を提供するものでありたい」を、指針としてまいりました。嬉しいことに、Fグループが手づくりする毎年恒例の3音楽会（ジョイントコン

会長の役をお引き

と同窓生との絆を保ち、パイプ役をつとめることがあります。少子高齢化のうねりのなか、フェリス女学院大学も変革の過程にあり、音楽学部もすでに演奏学科・音楽芸術学科に改組されました。来春には新体制の初の卒業生が仲間入りをします。Fグループを通じて同窓生に、学院側や先生方がどんなスタンスで

サート、研修会、ティータイムコンサート）は、盛況の度を加えています。この種の活動はまた、中部支部・九州支部などのご努力により、地方にも広がり根づいております。フェリスに学んで、音楽を人生の伴侶とすることを選ばれた同窓生の皆さま、Fグループ音楽会活動に参加と支援を願っております。

同窓会のいま一つの役割は、母校フェリスとともに精神とその業績の証言者・伝承者となることが有益ではないかと考えます。窓会は、遠くなる一方の音楽学部草創期の先人たちの精神とその業績の証言者・伝承者となることがあります。窓会は贈っているのもそのためです。今後は、先人の業績を偲び称える催しの開催などが考えられないでしょうか。皆さま、どうかお知恵と協力をお寄せください。

アクトイブな音楽学部－その伝統と発展－

音楽学部長 久保 浩



去る4月29日の総会

は、今年度より一部の祝日も授業日となつた緑園キャンパスで行わされました。各支部からの活動報告のなかで、演奏会等の運営資金の調達に苦労されていることを伺い、大学としてはその支援が出来ないのですが、同窓生の皆様とともにそのご苦労を共有しなくてはと感じたことです。山手の5号館が建設される2年前から木造の4

号館で過ごした私にとって、今回、当時のクラスでピアノと共に学んだ卒業生など多くの方とのお話を弾み、ひととき40年前の想い出に浸りました。皆様は当時のフェリス短大音楽科が充実していて大変に豊かな音楽を吸収したと言われ、現在もその時と変わらない雰囲気・学生の人数で、個々に行き届いたレッスンや授業を継続していることをお伝えしたときには、一様に安心した表情をされたことが印象深いものでした。例えばピアノデュオの授業も長年しておりますが、今年の20数名の学生も以前と変わらずに積極的に新しい曲に挑戦してデュオ作品を興味深くまとめていきます。

緑園キャンパスという素晴らしい環境にあって、音楽科からの伝統的な理念・教育を引き続き着実に継承し

ながら、これからニーズに敏感に対応して展開していくことの重要性を改めて感じました。音楽学部では各地で音楽特別講習会、高校訪問など積極的な広報を一層強化して臨んでいます。ホームページに情報を持載しておりますが、広報についてご助力を戴ける場合は、随時入試課にご連絡いただき資料の郵送が出来るようご登録のうえ、受験生の人数が少子化の影響を極力受けないように尚一層支援して戴きますようお願いいたします。

*ホームページは「フェリス入試NAVY」で検索されるか、「<http://www.ferris.ac.jp>」から「入試インフォメーション」にお入りいただき「資料請求フォーム」でお願いします。

2008年

音楽の贈り物

ジョイントコンサート

07年9月24日 フェリスホール



毎年恒例のジョイントコンサート、07年度はピアノ、ヴァイオリン、ソプラノのソリストの方々にご出演いただきました。当日はお天気にも恵まれ、たくさんのお客様がお運びくださいました。フレッシュな新卒業生から各世代の演奏まで、フェリスらしい上品で真摯な音楽が脈々と受け継がれていることを実感するとともに、その年代にしか出せない音楽があること、勉強を続けていくことの素晴らしさや尊さを感じさせた演奏会でした。

今年度は9月15日(月・祝)、フェリスホールにて開催いたしました。ピアノ、ソプラノ、弦楽器による演奏をお楽しみいただきます。緑に包まれた山手の丘、母校でのコンサート是非ご来場くださいませ!

[07年度出演者] * 堀部敦子(ソプラノ独唱・56回) · 柏木晶子(ピアノ伴奏・56回) * 梅田みお(ヴァイオリン独奏・56回)



研修会

07年10月8日 フェリスホール



毎年9月開催予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。(書類選考あり)

(担当 海野美栄・44回)

ティータイムコンサート

07年11月8日 山手6号館632教室



白井さん、本田さんご夫妻(前列左から3人目より)を囲んで

07年のティータイムコンサートは、「地球と仲良くな」と題し、講師に白井貴子さん(31回)をお迎えしました。

白井さんはソニーよりデビュー後、音楽活動だ

07年のティータイムコンサートは、「地球と仲良くな」と題し、講師に白井貴子さん(31回)をお迎えしました。

白井さんはソニー

よりデビュ

トは、「地球と仲

良くな」と題し、

講師に白井貴子

さん(31回)を

お迎えしました。

白井さんはソニ

ーよりデビュ

トは、「地球と仲良くな」と題し、講師に白井貴子さん(31回)をお迎えしました。

調和した歌声に皆様聴き入っていらっしゃいました。メンデルスゾーンのオルガンソナタやブランジェの宗教曲、ご自身の作品である讃美歌集などを、お話を交えるながら演奏して下さり、とても暖かなひとときとなりました。

(担当 井上千佳子・44回)

けでなくTVやラジオ、ナレーション等で活躍されており、07年、神奈川県初の環境大使に任命されました。フェリスでの思い出話や様々な演奏活動、またここ数年特に重点を置いていらっしゃるエコ活動について、ユーモアたっぷりの楽しいお話を交え、ご主人で同じバンド仲間でもいらっしゃるギタリストの本田清巳さんと共に、デビュー曲や神奈川県の歌などを披露していただきました。

その後のティータイムでは、白井さんは学生時代を懐かしく振り返り、サインを求める方々もいらっしゃいました。多くの方々にお越しいただき、楽しむひとときとなりました。

(担当 清水千晴・52回)

書記 清澄加世子(50回) · 金出地佳代(55回)
会報 坂口由紀(52回)
常任 近藤令子(23回)

Fグループ2008年度コンサートのご案内

ジョイント・コンサート
9月15日(月・祝)14:00開演
於：フェリスホール ¥2,000
【出演者】
ピアノ：柴川敦子(53回)、三浦晴美(53回・院7回)
声 楽：都留理恵(51回・院5回)、前田佳代(55回・院9回)
ヴィオラ：福田真智子(58回)
ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏：神戸倫樹美(20回)
小澤絵里子(33回)、小泉美千代(44回)
武田桃子(56回)

研修会
10月14日(火)18:00開演
於：緑園チャペル ¥1,000
「指揮台に立つ前に」
読売日本交響楽団
正指揮者 下野竜也氏による講演

ティータイム・コンサート
11月13日(木)14:00開演
於：フェリス女学院大学山手632教室 ¥1,000
内容：アイルランドの風にのって
～アイリッシュフルート等による演奏～
出演：安井マリ(34回)

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日 10時~17時)
Tel & Fax : 045-681-6740

支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子（30回）

昨年6月、念願であったハロックダンスの講習会を、同窓会本部のご助力もあって盛況のうちに終えることができました。同窓生だけではなく一般の方にも参加いたただき、好評を得ました。フェリス女学院大学同窓会の名前を広く知つてもらう良いきっかけとなつたことと思います。

までお世話になつた
先生方をはじめ、同
級生、後輩達に演奏
を聴いていたく數
少ないチャンスであ
るので、この演奏会を
を大切にしたいと考
えております。



方達が21名、関西9名という状況で、毎年関西以外の会員増加が顕著です。フェリスという土壤でしっかりと栄養を蓄えた若い才能が、各地域で根をわろし個性豊かに活動するのを、支部としてもずっと楽しみに応援していくたいと思います。距離を超えた交流がまず第一歩、昨年の倉敷に続き今年も中国・四国方面での支部会を開企画しますので、地元の方も少し遠い方も是非ご出席の上、活動のご様子をお知らせください。演奏も大歓迎です。

* 11月12日(木) 紅葉の京都でのオール
フエリス関西支部同窓会にも、Fグループ
会員の多数のご参加をお待ちしています。
上記の事情を踏まえ、今年度より「近
畿・中国・四国支部」の名称を用いる
ことに決まりました。(会報委員)

九州支部

支部長 安波 裕子(24回)

演奏会などの企画を多く持つ事ができる
よう知恵をしづらいたいと思っています。

また今年3月は行つた同窓生が教えるいる生徒達のための合同発表会は盛会でした。

中部支部
支部長 牛込まり(25回)

関西支部（近畿・中国・四国支部に改称）

昨年度の「ふれっしゅ・コンサート」は、出演者が3名（写真5名のうち2名はピア

ノ伴奏)でしたが、一人の演奏時間が長くなりました。今年度の出演者は5名です。卒業後一般の企業にお勤めする方、そのまま横浜に残られる方など、出演が難しくなっているのも現状です。しかし、大学に入る

中部支部

支部長 牛込 まり（25回）

を超えて「近畿・中国・四国支部」へと変容しています。94年の支部発足時に同地域を含めての支部としてスタートしましたが、2000年以後卒業の関西支部同窓生30名の内訳では、中国・四国地域出身で卒業後地元に戻って活動している

◆演奏企画・10月22日「歌の伴奏法と連弾の樂しみ方」・3月9日「ワルツについて」
交流会（pfラファエル・ゲーラ氏）・1月20日 ニューアイヤーコンサート&交流会
及び総会（藏田先生、名倉先生、堀先生）

フェリス音楽教室

こどもたちとともに50年

毎週土曜日
音楽学部校舎で授業

〈山手教室〉
045-212-2396

＜緑園教室＞
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

あつという間に時間が経ち、「先生ますます元気で」と再会を約束致しました。

倉長治子先生 卒寿お祝い

◆訪問演奏..8月31日 久山療育園..12
月10日ケアハウスくすのき..3月3日
老健センターささおかにて。

2007年度会計収支報告

<収入の部>

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,000,000
研修会会費	100,000	74,000
ティータイム会費	30,000	34,000
ジョインコンサート	280,000	290,000
宛名シール	15,000	16,940
雑取入	50,000	99,176
小計	4,475,000	4,514,116
前年度繰越金	2,820,796	2,820,796
収入の部合計	7,295,796	7,334,912

<支出の部>

項目	予算額	決算額
(1)運営費	1,660,000	1,182,555
会議費	30,000	6,335
印刷費	60,000	62,702
通信費	150,000	18,000
人件費	450,000	470,880
事務品費	80,000	38,588
備出張費	50,000	45,948
交学年幹事会費	150,000	146,960
特別委員会費	60,000	20,300
予備費	330,000	298,080
(2)活動費	3,150,000	2,285,809
総会関係費	550,000	486,574
研修会関係費	350,000	236,672
ティータイム関係費	130,000	104,708
会報関係費	750,000	535,650
ジョインコンサート	320,000	205,901
リサイタル後援費	100,000	110,315
支部関係費	550,000	533,890
慶弔関係費	200,000	72,099
予備費	200,000	0
(3)諸会費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4)積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5)予備費	1,365,796	0
支出合計	7,295,796	4,588,364
剩余金		2,746,548
支出の部合計		7,334,912

監査の結果、妥当かつ正確であったことを確認しました。

Fグループ会計監査 中田 幸子
井上 真記子

from
once a student

卒業生だより

れます。

ウイーン教育センターはフェリス女学院大学の在学生、卒業生、及び関係者が宿泊できる施設で、ウイーンの中心から徒歩圏にあるアパート内にフェリスが部屋を借りています。

06年3月の大学院修了と同時に

ウイーン教育センターの副手としてウイーンに住み、3度目の夏を迎えるようとしています。

当初は音楽の勉強をするためにヨーロッパに留学したもののが

ヨーロッパに留学したもののどこ

で日本で思い描いていた本場での勉強とは少し違う、というこ

ともありました。留学さえすればどうにかな

ると思い、何も分からずに色々な物事に手をつけた時期もありましたが、ウイーンでの生

活にも随分慣れ、今では自分のペースを考え音楽の勉強をするようになりました。

最近は個人レッスン以外にもオペラの勉強をしており、近々オペラの公演を控えていま

うにありますので、時間が許す限り出来るだけ多くの演奏会に足を運んでいます。ウイーンでもフェリスの卒業生が何名か勉強しており、こちらでのご活躍に、私も頑張ろうと励まさ



新緑のウイーンの森にて。
一面のニラの花をバックに。

佐々木孝枝 (53回・院7回)

音楽学部声楽学科首席卒業及び大学院修士課程修了。卒業時に三毛賞を受賞。

おめでとうございます

原田 愛さん (56回)
第56回横浜文化賞
芸術奨励賞受賞

西日本ピアノコンクール
第2位及び小長久子賞受賞
第4回中津 An die Musik ピアノ
コンクール 第1位受賞

学年幹事会

出席人数25名。07年度一般会計収支報告

(仮)・会計監査報告・08年度一般会計収支予算(案)報告・07年度活動報告及びそれ

らの承認、各役員報告等が行われました。

懸案の名簿発行については審議の結果、利用されました。旅行では味わえないウイー

ンでの生活を、より多くの方々にここで身近に感じていただけれど思つております。

岩本夏菜子さん (52回)
第7回ノーヴィ国際音楽コンクール
ピアノ部門

第2位(1位なし最高位) 受賞

【山手の丘に音楽誕生】

創設の苦難の時代から40年余にわたる音楽科の歩みに90年音楽学部発足からの10年間を追補。各年のデータベース付。

まだお持ちでない方にお勧めの一冊!
ご希望の方は 事務局まで。

（1冊・2000円）



【Fグループ事務局】木曜日10時～17時

◆ 住所・電話・姓の変更 旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆ 慶弔 同窓生、先生の慶弔をご一報下さい。

◆ 山手校舎6号館6332教室の貸出し、宛名ラベル印刷、演奏会の後援を行っております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

電話・FAX (045) 681-6740

E-mail : f-group@ferris.ac.jp

● フェリス女学院維持協力会
募金箱についての報告

Fグループ催しの折、設置しております
す募金箱より計33,556円を07年12月7日、維持協力会へ送金しました。ご協力頂きありがとうございました。

Fグループ会報編集

坂口 由紀 (52回)

澤田 真美 (52回)

同窓会支部だより

東京支部

東京支部はフェリス女学院の中高、大学各学部の卒業生が集まり、親睦を深めながら観劇、研修などの催しを行っております。最近の動向をお知らせ致しますと、今年一月には恒例の初春歌舞伎観劇を行いました。つどった同窓生同志、新年的挨拶を交わしたりして良い年の始まりだったと思います。

三月はビデオによるオペラ鑑賞、「ホフマン物語」を田中順先生の解説を伺いながら見ることが出来ました。四月には明治記念館の「お花見と和食のマナー」の会に参加し、会席料理を味わいました。お部屋からは美しい庭園が眺められて和やかな春のひとときでした。これから予定でございますが、六月、ビデオによるオペラ鑑賞があります。

仙二先生による井上洋治著「法然」の読書会を持ち、日本人の宗教心とキリスト教とのかかわりなどを勉強致します。七月、ビデオによるオペラ鑑賞があります。

今年の総会は十月一日、浜松町東京会館で開催致します。講演は本大学国際交流学部、横浜学が専門の大西北呂忠准教授をお招きして、来年迎える「開港一五〇周年と国際交流について」お話を伺うことになつております。秋に東京近辺の散策を役員一同計画中でございます。どうぞ多くの方がご出席下さいます様に、お待ち申し上げております。

《連絡先》

大川清子 03-3321-2687
高間美鈴 03-3775-6279

関西支部

昨年の関西支部の同窓会は、紅葉色づく六甲山の山々を背に、松林の美しい芦屋川に沿つて佇む、パリの二つ星レストランのうちは姉妹店「ジル」で、和やかな雰囲気のうちに開催されました。

お祈りに統いて「白菊会100周年に寄せて」という題で、関西白菊会の重鎮であり、同窓会関西支部長でいらっしゃる清水操様に、母校や同窓会の100年以上にわたる歴史をお話し頂きました。

明治2年、日本に布教使命を帯びて、うら若い女性のミス・キダーがその第一歩を印されたことは皆様よくご存じのことですが、その時代、実は日本は未だキリスト教の禁制がしかれていたことを知り、あらためてその勇気と女子教育にかける情熱の強さに感動いたしました。

宴もたけなわの頃になり、先輩方がよく愛唱されていたFerris Songなども披露され、「里の秋」や「校歌」なども唱和し、この関西の地で世代を越えて同窓生がひとつになって、うるわしい時間を共にできた幸せを分かちあうことができました。

遠路はるばる馳せ参じて下さいました皆様方、本当にありがとうございました。今年は古都京都にて再会の機会をもちたく存じます。その節は、多數の方々のご参加を祈念しつつ、その日（11月12日、第2水曜日）を心待ちしております。

今年度も同窓会を秋に予定しております。今回の当番幹事は音楽科の方にお願いし、役員共々が暖かいご協力を感謝しつつ、準備を始めております。皆様どうぞお誘い合わせの上、ご出席下さいます様、又お会い出来ます事を楽しみにお待ちしております。宜しくお願ひ申し上げます。

《連絡先》

岡本敦子 FAX 0797-35-0940

西南支部

主の御名を賛美します。

同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしの事と存ります。

さて、昨年の西南支部同窓会は、十月二十九日（日）に家政科卒の食空間コーディネーターの渡辺めり子様をお迎えし、ホテルオーネック福岡で開催する事が出来ました。

お優しい素敵なお姿からは想像出来ない程のエネルギーを感じ、お話しの中からも、一つでもそのアイディアやセンスを取り入れたくなる程楽しい時間が共有できました事、感謝でございました。

この会は中高、りべるて、りてら、Fグリー等々、その科をその学部を越えて、又時代を越えてお交わりが出来る場で、まさに感謝と喜びの場でもあります。

当番幹事の家政科（五十三年卒）の河本直子さん、番匠知子さんは大変お世話になり、本当に感謝でした。盛会に終わる事が出来、その後にはいつも校歌を歌い気持ち良く閉会となりました。

●フェリス祭

十一月一日（土）、三日（月） 中高校舎
十二月十三日（土） カイバー記念講堂

白菊会より

大学同窓会のみなさま、お健やかにお過ごしのことと存ります。

同窓会一〇一年目の年となりました。四つの同窓会が寄り添つて次の一〇〇年を歩んでまいりたいと思っております。またどうぞよろしくお願ひいたします。

秋から冬にかけての行事の予定をお知らせいたしますので、みなさまお誘い合わせてお出かけくださいませ。

秋から冬にかけての行事の予定をお知らせいたしますので、みなさまお誘い合わせてお出かけくださいませ。

●全窓会クリスマス礼拝

十一月一日（土）、三日（月） 中高校舎
十二月十三日（土） カイバー記念講堂

White Daisy Fair カイバー サタデーコンサート X 2008年11月15日（土）

開場12:30/開演1:00 フェリス女学院カイバー記念講堂
JR石川町南口、MM線元町中華街下車 全席自由3000円（学生券1000円）

出演 小野 杏実（ソプラノ）1972年卒 高橋 和美（ソプラノ）1984年卒
梶 佳奈子（ソプラノ）1989年卒 石岡 千弘（ピアノ）1997年卒
岡田 真里子（マリンバ）

プログラム モーツアルト オペラ「フィガロの結婚」より
●恋とはどんなものかしら ●美しい時は今やどこに
●そよ風に（手紙の二重唱） 他

同時開催

岡田 晶子 1995年卒 陶芸展

【主 催】フェリス白菊会 【後 援】フェリス女学院中学校高等学校
【問合せ】同窓会室（火・木在室）☎045-641-5200
*収益はフェリス女学院中学校高等学校に寄付いたします。

●同窓会は外国にもあります

- ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2007年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告
(2007年4月1日~2008年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	783,464
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利 息	1,490
小 計	281,490
合 計	1,064,954
各支部(東京、西南、関西)へ祝儀〔含、郵送料〕	61,060
クリスマス礼拝関連費	79,585
備品購入	2,105
合 計	142,750
翌年度繰越金	922,204

翌年度繰越金は、922,204円です。
以上、ご報告申し上げます。

2008年5月10日 会計 白菊会 西谷 洋子

音楽学部教授 岡島 雅興

山岡優子先生ご逝去の報を受けたのは3月4日朝でした。1月の演奏会をキャンセルなさつたので心配していましたが、まさか、と当初は信じられませんでした。

音楽家にとって個性豊かな表現力を持つことは必須であり、またそうでなければ成り立たない職業であります。しかし表現としての個性の土壤となる人間性においても数々の逸話が物語るように後世にも伝説として残るような個性溢れる素敵なピアニストでいらっしゃいました。

先生は1964年に当時の短期大学音楽科に非常勤講師として着任、

倉敷大原美術館を訪れるたび、矢代作品の初演の情景、音達が立ち会つてもいられない私の心に響いてきます。数年前最新作のピアノ曲を聴いて戴いたことが良い想い出となりました。

数々の想い出を多くの人々の心に残し、旅立たれた山岡優子さんのご冥福を心からお祈り致します。

《日 時》

2008年12月13日(土)

午前 11時~12時

《場 所》

カイパー記念講堂

●フェリス女学院同窓会主催

《説教者》

フェリス女学院

中高聖書科教諭

荒木 聰先生

クリスマス礼拝のご案内

* フェリス女学院全同窓会主催
皆様、どうぞご参加下さい



クリスマス礼拝(2007年) 献金先

献金総額	114,400円
日本ユニセフ協会	28,600円
日本キリスト教海外医療協力会	28,600円
難民を助ける会	28,600円
社会福祉法人日本医療伝道会	28,600円

追悼 山岡優子先生



山岡優子先生を偲んで“

1976年に短期大学教授になられ、2003年に定年退職されるまでフェリスの学生の指導に心血を注いでいらっしゃいました。その間も絶え間なく演奏活動を続けられ、多くの国内外コンクール審査員を始め、横浜市教育委員等の要職を精力的に務められておりました。

退職後も名誉教授として、また学院評議員の職を任期半ばに病に倒されたことは本学にとても損失があり、日本の音楽界にとっても現役のピアニストを失った悲しみは計り知れません。

山岡先生との出逢いは1969年に私がフェリスで教え始めた年です。私の恩師でもある作曲家故矢代秋雄先生、三善光先生と同時代にパリで親交を温められ、当時のお話を折に触れて聞かせて戴きました。私が所蔵する山岡先生演奏の矢代、三善両恩師のピアノソナタのレコードは私の宝物です。

サーカル紹介

聖書を学ぶ会

卷之三

永眠者（お届けのあつた方）

大學祭

FERRIS FESTIVAL 2008

● h - v : Ferriswheel

Ferriswheel ~Welcome to the Romantic Space

時話 氣仙三一先生 第二木曜日 十時半～十二時

十二月は第三木曜日
場所 連絡先 中高同窓会室 杉浦 昌子(S-26)
○四五(三三五)一一〇

書道サークル

初心者の方でも気軽に入会でります
日 時 第四木曜日 一時～四時
場 所 大学(山手六号館別館二階
連絡先 望月幸子(56E)

○三(三七一七)九一八五

指導田中順先生
時日月二回木曜日一時半～三時
場所白菊会同窓会室
連絡先鈴木道子(S41)
○四五(九三四)七六〇三

A vibrant bouquet of pink roses with yellow centers, arranged in a clear glass vase.

指導 指日時 场所 連絡先
吉野洋子先生 第三水曜日 十時半～十二時
中高同窓会室 大島 和子
○三(三四一〇)七二三〇
世界史講座——キリスト教と世界
講師 居 洋先生 第三木曜日 十時半～十二時半
場所 中高同窓会室 十二月はお休み
連絡先 教原 安子(548)
○三(三四一〇)五八九九

◆12月12日(金) 第29回クリスマスコンサート フェリスホール
クリスマスオラトリオ(1~3部)
出演 指揮:小泉ひろし
Sop.平松英子、Alt.田中奈美子
Ten.藏田雅之、Bas.土屋広次郎
Org.宇内千晴

◆'09年3月12日(木) 第18回「メサイア」 フェリスホール
出演 指揮:小泉ひろし
Sop.西由起子、Alt.田中奈美子
Ten.藏田雅之、Bas.星野聰
Cemb.浅井寛子、Org.宇内千晴
お問い合わせ:演奏委員会室 TEL 045-681-5189

■ Fグループ演奏会のお知らせ ■

- ◆9月15日(月・祝) ジョイント・コンサート フェリスホール
開演 14:00 料金 ¥2,000
ピアノ、ソプラノ、弦楽器によるコンサート
- ◆10月14日(火) 研修会 緑園チャペル
「指揮台に立つ前に」
読売日本交響楽団 正指揮者 下野竜也氏による講演
開演 18:00 料金 ¥1,000
- ◆11月13日(木) ティータイムコンサート 山手6号館632教室
出演: 安井マリ(34回)
内容: アイルランドの風にのって
～アリッシュフルート等による演奏～
開演 14:00 料金 ¥1,000

野村 文子姉	(D 39)
山田 令子姉	(D 47)
内田 邦子姉	(D 54)
原口 亜紀子姉	(D 60)
諏訪 純子姉	(D 42)
佐々木恒子姉	(D 41)
布井 一彗姉	(D 39)
新 広子姉	(D 39)
二〇〇七・六・三	
二〇〇七・八・五	
二〇〇八・三	

編集後記

フェリス女学院大学教職センター
FAX 045-811-1944
メールアドレス kyoshiyoku@ferris.ac.jp

輪を、さらにも広げたいのです。未だの方は是非御一報下さい。

また、教職に就きたいGのためのメリングリストも作りました。常勤でも非常勤でも結構ですので、何か情報がありましては、お聞かせ下さい。

非ご連絡下さい。

報告

(B5版全48頁)を刊行しました。

フエルリスの教職課程の歴史と現状がコンパクトでわかります。入手ご希望の方は御一報下さい。

送料無料

以上についての連絡は教職センター宛にお願い致します。

開催場所…緑園キャンパス
(両日共出店は十七時まで)

教職センターからのお知らせ

フェリス女学院大学同窓会会報
二〇〇八年八月発行
担当：家政科同窓会りべるて
〇四五(六六二)〇七五〇
〇四五(八一二)八六九二
〇四五(六八二)六七四〇
りてら
Fグループ